

令和 7 年度 第 2 回 青森市スポーツ推進審議会 会議概要

開催日時 令和 7 年 10 月 30 日（木）18：30～19：30

開催場所 青森市中央市民センター 3 階 研修室（1）

出席委員 斎藤 恵子委員、齋藤 幸子委員、佐々木 規博委員、菅原 文子委員
高杉 勝彦委員、長尾 信 委員、中田 吉光委員、松尾 浩昭委員
馬渡 清隆委員 <<計 9 名>>

欠席委員 工藤 富士子委員

事務局 経済部地域スポーツ課
課長 高野 新、主幹 佐々木 崇、主幹 神 岳人、
主査 北山 賢臣、主事 古山 聖華、主事 櫻庭 琉都
経済部国スポ・障スポ総務課
主幹 加藤 耕史
経済部国スポ・障スポ競技課
主幹 藤田 信弘 <<計 8 名>>

会議次第 令和 7 年度第 2 回青森市スポーツ推進審議会

- 1 開会
- 2 審議
（案件） スポーツ団体に対する補助金について
・ 一般財団法人青森市スポーツ協会
・ 青森市スポーツ少年団
- 3 報告
（案件） 令和 7 年度 主なスポーツ振興事業について
- 4 その他
- 5 閉会

【議事概要】

令和 7 年度第 1 回青森市スポーツ推進審議会

■審議（案件）スポーツ団体に対する補助金について

事務局から、資料 1 のとおり、スポーツ団体に対する補助金について説明があった。

意見、質疑応答

○委員

体育・スポーツ競技団体育成強化事業補助金について、国スポに関して佐賀県への派遣が13名で滋賀県が4名と人数に差があるが、これからまだ派遣することはあるのか。

○事務局

国民スポーツ大会への派遣については、青森市スポーツ協会に所属する団体の参加者に補助金を交付しており、その年度によって参加する者の数が異なっているという状況であり、今年の国民スポーツ大会は既に終了している。

○委員

式典やレクリエーション、開会式などへの参加はないのか。

○事務局

派遣については、国民スポーツ大会に競技団体の代表として出場する場合に、その旅費の一部を支給しているものである。

○委員

スポーツ少年団の登録団体数が令和6年度は44団体で令和7年度は18団体、また、ミニバスケットボールとサッカーの大会の開催がないという状況について聞きたい。

○事務局

スポーツ少年団の団体数は、令和7年度は大きく減少しているが、その原因としては、ミニバスケットボールとサッカーの県大会が開催されないということで、これまで登録していた団体が登録しなかったと聞いている。

○委員

県大会に出るために登録をしているということか。

○事務局

地区大会、県大会、全国大会と進んでいくので、県大会への参加を目指して頑張っているスポーツ少年団が多いと認識している。

○委員

国民スポーツ大会への派遣について、秋季大会に行われる本大会への派遣ということだが、先行開催で9月に水泳競技が行われているが、夏季大会は交付対象には入らないのか。

○事務局

国民スポーツ大会の全ての大会を対象としている。

○委員

スポーツ少年団の登録について、県大会がないので登録団体が減ったということだが、加盟すると登録料がかかるものなのか。それにあって、登録料が発生するから登録はしないというスタンスになっているのか。

○事務局

登録には、団員、指導者に対し1人あたり、料金の徴収がされるため、その影響は考えられる。

■報告（案件）令和7年度 主なスポーツ振興事業について

事務局から、資料2のとおり、令和7年度当初予算 主なスポーツ振興事業について説明があった。

意見、質疑応答

○委員

(2)の官民連携によるスポーツを通じた地域活性化について、ホームページで配信していると思うが、その他に配信の方法はあるのか。また、助成件数が合宿11件、大会1件とあるが、大会は何の大会か。

○事務局

周知の方法については、市ホームページのほか、各大会を行うにあたり、チラシやポスターを作成して小・中学校を通じて配信するなどし、PRを行っている。大会はカーリングの青森シニアカーリングオープン開催に対し助成を行ったものである。

○委員

大会や合宿等に対し、全体でどのくらいの金額がかかっているのか。

○事務局

市の助成は1件あたり、1人1泊あたり2,000円で支出し、総額2,001,000円を助成している。

■その他

特になし。

■閉会